

環境調査結果のお知らせ

令和8年6月18日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされるカレニア・ミキモトイが最高で1 cell/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL、オクタクティス属が最高で11 cells/mL確認されました。また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータムが最高で4 cells/mL確認されました。ギムノディニウム・カテナータムは二枚貝の毒化が懸念される警戒基準値（1 cell/mL）を上回っていますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	オクタクティス 属	ギムノディニウム・ カテナータム
A ガラク (6m) 【09:55】	0	24.1	28.8	7.6	0	0	1	0
	2	24.2	31.8	7.2	0	0	0	0
	5	24.0	32.8	7.2	0	0	1	0
	10	24.1	33.1	6.7	0	0	0	0
	底層 14.5	24.2	33.4	6.8	-	-	-	-
B 勢井 (5.1m) 【10:07】	0	24.4	32.2	7.0	0	1	0	0
	2	24.2	32.6	6.9	0	0	0	0
	5	24.2	32.9	6.3	0	0	0	0
	10	24.2	33.4	5.9	0	0	0	0
	底層 20	23.7	34.2	6.0	-	-	-	-
C 馬の背 (5.5m) 【10:12】	0	24.4	32.4	6.8	0	0	0	4
	2	24.2	32.6	6.7	0	0	1	0
	5	24.3	32.9	5.9	0	0	0	3
	10	24.2	33.4	6.0	0	0	1	2
	底層 19.5	23.8	34.2	5.8	-	-	-	-
D 大室戸 (5.9m) 【09:44】	0	24.4	32.5	6.8	0	0	0	0
	2	24.3	32.6	6.7	0	0	2	0
	5	24.2	33.0	6.0	0	0	0	0
	10	24.1	33.3	5.6	0	0	1	0
	底層 19.5	23.8	34.2	6.2	-	-	-	-
E 湾奥ブイ (6m) 【09:35】	0	24.6	32.5	7.1	0	0	0	0
	2	24.4	32.5	7.0	1	0	0	0
	5	24.3	33.1	6.2	0	0	11	0
	10	24.1	33.6	5.6	0	0	0	0
	底層 16.5	23.8	34.1	5.6	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6~8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
ギムノディニウム・カテナータム	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

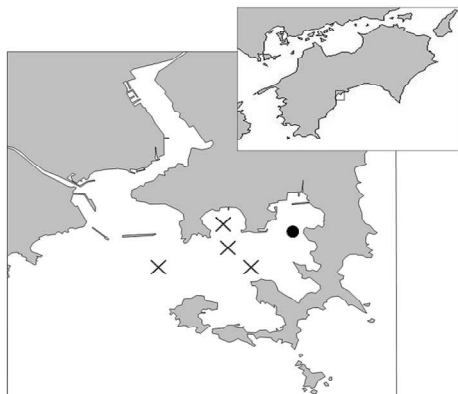
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 湾奥ブイ

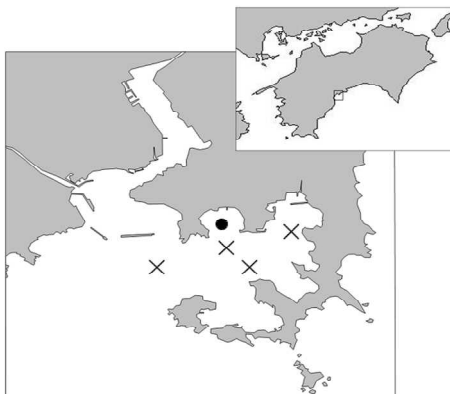
カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



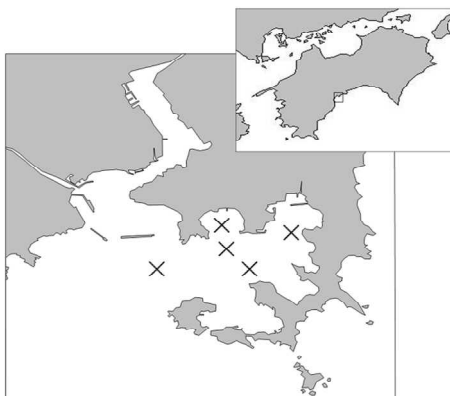
オクタクティス属

最大細胞密度



ギムノディニウム・カテナータム

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ
円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

